

有意義な夏休みを！

1学期が終わり、夏休みが始まります。夏休みは日頃なかなかできないことに時間を使うチャンスです。有意義な夏休みになるよう、計画的に過ごしてください。

さて、夏休みは進路決定の上でも貴重な時間となります。多くの上級学校ではオープンキャンパスが実施されます。また、3年次の就職希望者は応募前職場見学に行くことができます。是非、足を運び、実際の現場で見聞きするチャンスを大切にしてほしいと考えています。

○新卒者の離職率について

今、全国の新卒者対象の追跡調査によると、高校卒業後就職した方のうち、3年以内に離職した方が39.6%というデータがあります。短大、大学卒でも30%～45%です。つまり、約3人に1人が就職した会社を3年以内に辞めているのです。理由は様々ですが、労働条件、人間関係、仕事が自分に合わないといった理由が上位を占めているようです。

転職、進路変更は決して簡単なことではありません。入社後に満足できる職場に就職できることが一番理想的であるのは言うまでもないでしょう。そのために大切なのは進路決定前の進路研究です。

○まずは、足を運ぶ

進路研究で大切なのは資料を見ることだけではありません。実際に見学をすることでわからないこと（雰囲気や詳細の説明）もあります。求人票や学校案内を見ることも大切ですが、職場見学やオープンキャンパスも大切にしてください。

○複数見て、感じる事が大切

複数の学校や企業に行くとき比較ができるメリットが出てきます。比較することで特徴がより鮮明になることもあります。また、思わぬところで新しい興味を持つこともあります。オープンキャンパスや職場見学は第1志望でなければ行ってはいけなわけではありません。積極的に参加してください。

○保護者と相談する

進学や就職は金銭のことも関わります。一人で考えるのではなく、保護者とよく相談をしてください。また、保護者と話すためには、自分で事前に調べておくことも大切です。受け身にならず、主体的に進路研究をしてください。

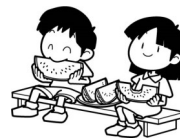
求人状況速報

内訳	求人企業数 (昨年度)
市内	111 (80)
県内	88 (70)
県外	177 (122)
合計	376 (272)

7月12日現在

7月1日に求人票の受付が開始されましたが、左表を見ても分かるように、昨年度よりも大きく上回っている状況です。職種別にみると製造職等の仕事が多く、事務関係の仕事が少ない傾向があります。

職種・地域など視野を広げて、積極的に職場見学に参加・検討し、採用選考(面接・筆記・作文)を勝ち抜くために努力しましょう。



夏季休業中に注意すべきことを以下に挙げておきます。

- 1 就職希望先は、担任や進路課の先生のアドバイスを参考に、保護者とよく話し合ってください。
- 2 夏季休業中も求人票が届きます。必ず見に来てください。
- 3 履歴書からその人柄が判断されません。細心の注意を払いながら丁寧に記入しましょう。
- 4 夏季休業中に面接指導があります。必ず出席してください。

就職希望者へのアドバイス

企業の方々には、どのような人を採用したいと考えているのでしょうか。複数の企業の方と話をし、次のようなご意見をいただきました。

こんな人を求めています

- ・あいさつがきちんとできる
- ・まじめで休まない
- ・ハキハキして元気がよい
- ・人の話を素直に聞ける
- ・コミュニケーションが取れる
- ・勉強をする習慣がある
- ・言われたことをするだけでなく、自分が何をすべきか、気がつける
- ・上下関係をしっかりわきまえることができる(礼儀正しい)

- ・3年間部活動を続けた(我慢ができる)
- ・しっかり勉強をしている(成績・資格を取っている)

いかがでしょうか。当てはまる項目はありましたか。「働く」ことは決して甘くありません。厳しいものです。だからこそ、高校生である今を大切に、しっかりと自分自身を鍛えてください。

どのような仕事が自分に向いているのか、悩む人も多いと思います。しかし、それは実際に仕事を始めてからでないと判らないことが多いです。また、仕事を始めてから自分自身が成長

夏に鍛えろ!!

し、できる仕事も増えていきます。最初は我慢することや苦勞も多いものなのです。

少しでも自分に合った仕事を探すためには、よく調べ、考えることがとても重要です。企業は求人票に、「このような人がほしい」というメッセージを込めています。よく確認し、志願先の決定に役立ててください。

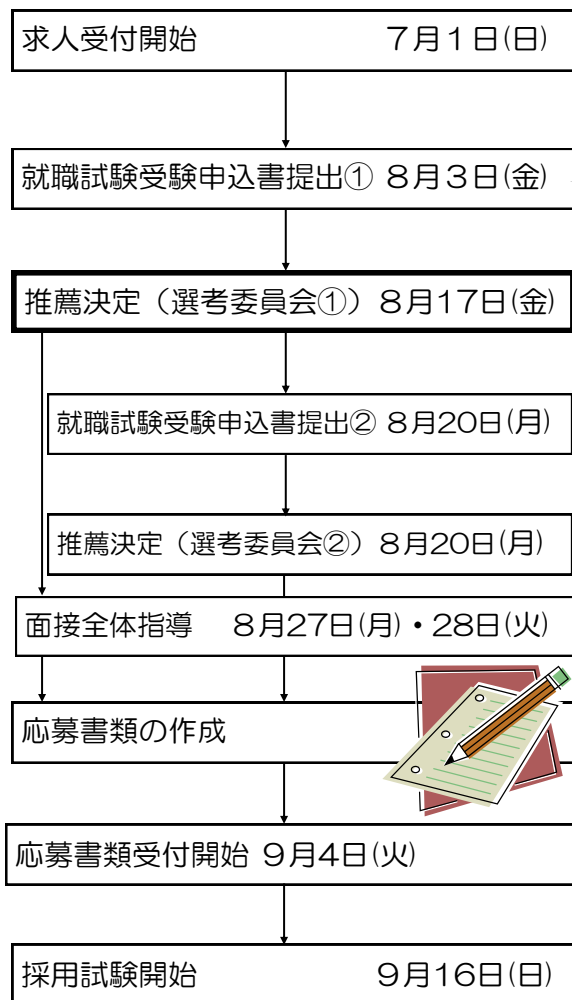
夏休みは、様々なことにチャレンジし、自分を鍛えるチャンスでもあります。自分に何が必要かを考え、有意義に過ごしてください。



夏休み中の就職活動の流れ

進路保護者面談（7月25日・26日）

就職試験のスケジュール



保護者の方もご確認ください。

本人と保護者でよく話し合い、100%納得できた就職希望先を提出してください。

選考委員会の結果は、すぐに担任を通じて連絡があります。
家や学校など、必ず連絡のつくところにおいてください。もし推薦されなかった場合は、再度、学校に来て担任と話し合い、就職希望先を決めなければなりません。

新しい自分の就職希望先を決めて、もう一度提出します。



夏休みは学校に行こう！！

8月末から9月始めは、**体育祭**の準備期間中でもあります。3年次生にとってはとても忙しい時期です。しかし、進路決定は、待つてはくれません。

進路に対して早く取り組んだ人ほど、自分が希望した進路を実現する可

能性が高くなります。

そのためにも、夏休み中は、できるだけ登校して、試験勉強や面接練習をしましょう。

学校に来て、多くの先生や友達とコミュニケーションをとることも、進路情報を手に入れる絶好の機会になります。

1、2年次生もチェック！

進学希望者へのアドバイス

己に克て！！

進学希望者にとって、夏休みは学力を向上させる絶好の時期です。休みだからと本当に休んでいては、志望校は遠のくばかりです。目標を設定して、しっかりと学力を定着させましょう。

学習の成果は、3日や4日が出るものではありません。今していることが成果として出てくるのは、最短でも3か月先です。あきらめず、努力を怠らない人には必ず結果がついてきます。補習や模試をペースメーカーとして、着実なレベルアップを目指してください。自分の学力が、希望する学校のレベルに達すれば合格することができます。

夏休みを有意義に過ごすためには、事前にしっかりと学習計画を立てておくことが大切です。計画を考えたときは以下のポイントに注意しましょう。

(1) 夏休みを4つに分けて計画を立てる。

夏休みは長いので、次の4つの時期に分けてみましょう。

- ① 7月下旬 ② 8月上旬
- ③ 8月中旬 ④ 8月下旬

それぞれの時期に何に取り組むかを考えると、学習計画が立てやすくなります。

(2) 無理のない計画を立てる。

学習の内容を確実に理解していくためにも、詰め込みすぎない計画を立てるようにしましょう。

進路指導室前の資料は持ち帰り自由です。
積極的に活用してください。

(3) 課題を最優先で学習する。

夏休みの課題には、これまでの学習のポイントが多く含まれているので、課題にしっかり取り組むことで、復習もできます。

(4) 苦手分野の復習に取り組む。

時間がある夏休みは、苦手分野を克服するチャンスです。不得意だと感じている教科をここでしっかりと復習しておきましょう。

(5) 毎日の学習の記録をつける。

何時間学習したか、計画通りに学習できたかを毎日振り返り、記録するようにしましょう。毎日振り返ることで、すぐに軌道修正を行うこともできます。

(6) オープンキャンパスへ行こう！

オープンキャンパスは志望校のことをしっかりと見ることが出来る貴重な機会です。時間のある夏休みを利用し、参加しましょう。